

沼田たか子の活動報告

● 4/16 さようなら原発首都圏集会
 亀戸中央公園で開催された集会に参加しました。



ウクライナに平和を、ロシアは原発に手を出さないで。
 原発はいらない。
 沈黙は容認。
 声をあげよう。

● 4/23 第1回定例会 報告会・学習会
 議会活動報告会と学習会を開催



学習会「マンション建て替えの基礎知識」

都立水元特別支援学校を視察。一人ひとりの特性に配慮した教育、災害を想定した宿泊訓練、見やすくわかりやすい案内表示、バリアフリーの空間など、どの教育の現場にも取り入れて欲しい工夫にあふれていました。

金町駅前での議会報告



議会のあとは区議会レポートを作成、配布し、議会の様子や沼田の活動を報告しています。区民の皆さんの意見を伺う大切な時間でもあります。

児童生徒・保護者から公募して誕生した『ポニタン』と校章(菖蒲の花)をモチーフに誕生した『みずもちゃん』



● 5/10 府中の森公園にじいる広場

障がい者団体や地域の声を大切にしたい。インクルーシブ公園を視察。公園は作ってからが真価を問われるという担当者の言葉が胸に刺さりました。知的障がいのある子どもの困難さへの配慮など、視点が広がりました。



● 5/16 東京都立水元特別支援学校

都立水元特別支援学校を視察。一人ひとりの特性に配慮した教育、災害を想定した宿泊訓練、見やすくわかりやすい案内表示、バリアフリーの空間など、どの教育の現場にも取り入れて欲しい工夫にあふれていました。

● 5/19 品川区立環境学習交流施設

環境を守る暮らしの実践を日常的にできるように楽しく学ぶ工夫がたくさん。ZEB認証を受けた施設「エコルとごし」を見学。品川区環境課の職員から環境政策についてお話をききました。



品川ネットのメンバーとともに

● 5/29 江戸川スーパー堤防見学会

柴又の地形と、川とともに暮らす人々の知恵を学び、水害への備えについて考える機会になりました。



柴又公園のスーパー堤防の一部として整備されました

● 6/4 京成線荒川橋梁部 夜間水防訓練

周辺の堤防に比べて低くなっており、大型台風等による増水時は越水する危険性が高い荒川橋梁部。京成線を止めて、越水を防ぐための止水板設置訓練が実施されました。



第2回定例会を終えて

第2回定例会中、認可保育所に対する補助金の算定額の相違について報告されました。総額は4年間で5億1千万円と多額です。業務の手順や管理の問題、再発防止についても改善すべき点がありますが、特に、区民の代弁者である議員に対して、納得できるような誠実な説明がなされないまま、テレビやネットニュースの報道によって状況が公にされたことが大きな問題です。

首長の発言は重く、議会への報告もないままに、方針が二転三転するような発言が繰り返されれば、区民の区政への信頼を損なうこととなります。今回の問題にかかわらず、議会や区民に対して、経過を含めて状況を確認しながら、誤解を招かないようにコミュニケーションをとることが大切です。「経過が見えない中でいつの間にか決まっていた」は、なくしていかなければなりません。

「病気や障がいがあっても、誰もがその人らしく、安心して暮らしていける葛飾にしていきたい!」

一人ひとりの声を区政に届け、実態にあった制度やしくみの提案で困りごとを改善していきます

葛飾・生活者ネットワーク

議員は市民の代理人。
 生活者ネットワークは議員を代理人と呼び活動しています。
生活者ネットワーク 3つのルール
 ◆ 議員は交代制、議員の特権化を防ぎます
 ◆ 議員報酬は市民の政治活動資金に
 ◆ 選挙はカンパとボランティアで

〒125-0054 葛飾区高砂 8-21-1
 TEL:03-5876-4757 FAX:03-5876-4758
 e-mail:katsushika@seikatsusha.net
 https://numata.seikatsusha.me



発行：2022.7.14
 発行責任者：沼田たか子

葛飾区議会議員
 ぬまた

沼田

区議会レポート Vol.3

たか子

e-mail:katsushika@seikatsusha.net
 https://numata.seikatsusha.me

NET 葛飾・生活者ネットワーク



令和4年 第2回定例会 6/7 ~6/23

審議内容 ◆ 令和4年度補正予算を含む16議案、請願3件、意見書5件について審議。

安全性が確かめられていない食品を子どもたちに食べさせたくない!

食の未来を思う区民がゲノム編集トマト苗に関する請願を提出

2023年に小学校への無償配布が予定されているゲノム編集トマト苗について「教材として栽培することで周囲に交雑がすみ環境に影響を与えかねない」「安全性が確認されていない食品を子どもたちに食べさせたくない」として、区に苗を受け取らない方針を示すよう要望する請願が提出されました。この請願には270筆の署名が添付され、趣旨に賛同する他3名の議員と紹介議員になりました。

意見陳述に立った幼稚園児の母親からも、子どもも親も選択の余地なく受け入れることになる、と教材として使われることへの危機感が語られました。区民の訴えに対し、区の見解は「国が流通を認めており、区はその是非を判断する立場にない」「教材として相応しいかどうかの評価を行うのは各学校であり、その判断を尊重する」というものでした。文教委員会の採決では共産党と採択を主張しましたが、自民党・公明党・区民連合・無所属1名が反対の立場をとり、不採択となりました。

食べ続けることによる安全性や交雑による生態系への影響はわかっておらず、消費者の選択の権利も奪われた現状にあるゲノム編集食品に対して、区は国任せでない対策を取るべきと考え、今後も検討を求めています。

「選ばない選択」ができない?!

◆ ◆ ◆ ゲノム編集食物について知ろう

ゲノム編集技術と日本の現状

酵素を用いて特定の場所を切断することでDNAに変化を起こす技術です。日本では「別の生物の遺伝子を組み込まないことから従来の品種改良と変わらない」として厚生労働省に届け出ただけで流通でき、表示義務もありません。タネや苗にも表示義務がないため、家庭菜園などで知らずに栽培される可能性もあり、食品流通の全ての過程で遺伝子操作の有無を判別することが難しくなっています。

ゲノム編集トマト苗の無償配布問題とは

開発元の企業が苗の無償配布を発表。障がい児福祉施設・デイケア福祉施設は2022年、小学校は2023年より開始するとしており、自治体に対して受け取り拒否を要望する市民運動が各地で広がっています。

トマト苗の受け取りは各学校の判断に

毎日の食に何をを選び、未来に何をのこすかは、消費者の選択の権利が確保された上で、その選択の積み重ねによって決められるべきです。生態系・人体・他の遺伝子への影響がわかっていない食物を、そうと知らないまま口にしたり、環境に広めてしまうかもしれない現状をみなさんはどう考えますか? 食の未来に無関係な人はいません。この問題を、判断を担う学校関係者はもちろん、区民一人ひとりが食の選択の権利について考える機会にしていきたいと思います。

だれもが住みなれた地域で安心して暮らせる葛飾に 沼田たか子

PROFILE ◆ ◆ ◆

- 1976年 新潟県吉田町(現:燕市)に生まれる。
- 1998年 新潟大学医療技術短期大学部看護学科卒業。日本医科大学付属病院、新潟大学附属病院に勤務。結婚後、訪問看護師として働く。
- 2011年 聖徳大学人文学部心理学科卒業。生活クラブ生協加入。
- 2013年 葛飾区新宿に転居。子育てをしながら、生活クラブ生協まちかつしかの運営委員として活動する。
- 2017年 身近な地域で暮らす人々の役に立ちたいという思いから葛飾区内の訪問看護ステーションに勤務する。
- 2021年 葛飾区議会議員選挙に初当選
- 現在 文教委員会、区民サービス向上対策特別委員会に所属
- 資格: 看護師、介護支援専門員、心理相談員
- 趣味: 庭いじり、ヨガ ●家族: 夫、息子 ●葛飾区新宿在住

政治は生活を豊かにする道具

沼田たか子に
 あなたの声をお寄せください。



◆ 公式WEBサイト、SNSはこちらから ⇒

